

平成 20 年第 1 回横須賀市議会定例会本会議（3 月 3 日）
教育経済常任委員長報告（議案）

ただいま議題となっております議案のうち、教育経済常任委員会に付託されました議案第 2 号中付託部分、第 9 号及び第 10 号の以上 3 件につきまして、委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、2 月 26 日会議を開き、案の説明を聴取して質疑を行いました。主な質疑を申し上げますと、議案第 2 号平成 19 年度横須賀市一般会計補正予算（第 3 号）中付託部分については、A E D 耐用年数経過後の措置、A E D 設置に関する積極的な市民周知の必要性、総合体育会館空調工事の内容と予算額の妥当性、同工事に伴う非常用発電装置の導入、I C T 活用教育推進事業実施を 3 カ年とした理由、同教育推進に伴う教職員の負担軽減の必要性、企業等立地奨励金交付対象企業における市内雇用の増加見通しについて、であります。

議案第 9 号平成 19 年度横須賀市水道事業会計補正予算（第 2 号）及び議案第 10 号平成 19 年度横須賀市下水道事業会計補正予算（第 1 号）については、新エネルギー・産業技術総合開発機構の公募審査において本市太陽光発電設備設置事業が不採用となった理由、下町浄化センター新系列増設用地費が増額となった理由、人員削減による上下水道事業への影響について、であります。

次いで、討論において、瀧川君枝委員から「本年度 5 億 8,000 万円余交付された再編交付金は、原子力空母配備に伴う市民の不安を払拭するためにこそ使うべきである。また、再編交付金充当事業として提案された事業のうち、I C T 活用事業は、教職員の負担軽減策が不十分であること及び費用対効果の点から、市民の理解を得ることは難しい。よって、議案第 2 号中付託部分に反対する」旨の意見があり、採決の結果、議案第 9 号及び議案第 10 号は全会一致で、議案第 2 号中付託部分は賛成多数で、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。